

いじめ撲滅月間

小さなサインも見逃さない！

保護者用いじめチェックリスト

いじめは、決して許されることではありません。
しかし、どの学校でも、どの子どもにも起こり得る問題です。
いじめ根絶のためには、いじめを許さない厳しい目と、子どもの
小さなサインも見逃さない温かな目を持ち、適切に対応することが
大切です。



いじめを早期に発見するために、下の項目を参考にチェックしてみてください。

日常生活の変化	<input type="checkbox"/> 理由のはっきりしない衣服の汚れや破れ、すり傷やあざなどがある。 <input type="checkbox"/> 登校時刻になると、身体の不調を訴え登校をしづらくなった。 <input type="checkbox"/> 食欲が急に落ちる、寝つきが悪い、笑顔が減った。 <input type="checkbox"/> 意味なく夜更かしし、極端に寝起きが悪くなった。 <input type="checkbox"/> 妙ににこにこしたり、気をつかいすぎたりすることが多くなった。
持ち物の変化	<input type="checkbox"/> 持ち物や勉強道具などがなくなったり、落書きをされたりしている。 <input type="checkbox"/> 家庭から品物やお金を持ち出したり、必要以上にこづかいを要求したりするようになった
友人関係の変化	<input type="checkbox"/> 親しかった友達が遊びに来なくなったり、遊びに行く回数が減ったりした。 <input type="checkbox"/> 電話に出たがらなかったり、友達の誘いを断ったりするようになった。 <input type="checkbox"/> 学校や友達に対する不平や不満を口にすることが多くなった。
家族との関係の変化	<input type="checkbox"/> ささいな事で怒ったり、家族に八つ当たりしたりするようになった。 <input type="checkbox"/> 家族との会話が減ったり、意図的に学校や友達の話題を避けようとする。
いじめの側からの発見	<input type="checkbox"/> 買ってやっていないものを持っている。 <input type="checkbox"/> お金のつかい方が荒くなった。 <input type="checkbox"/> 親の言うことをきかなくなり、反抗的態度をとるようになった。 <input type="checkbox"/> 親が部屋に入るのを極端に嫌がるようになった。

家庭において努めたいこと

○子どもと過ごす時間をつくる

親と子どもの時間が合わないために、一緒に過ごす時間が少なくなっていますか。学年が上がっても家族と過ごす時間は大切です。家族で少しずつ調整し合って、食事の時間を合わせたり、就寝前などの時間を利用したりして、学校の話や友達、将来について話す時間をつくりましょう。テレビのスイッチを切るだけで、時間が作れます。

○子どもの様子にアンテナを張る

子どもが今、何に関心を持っているか、どんな勉強の仕方をしているのか、読んでいる本や、学習ノート等を見る機会を持ちましょう。

○おとな同士の関係をつくる

学校行事やPTA活動、地域の行事などに積極的に参加し、保護者同士、おとな同士の関係をつくりましょう。多くのおとなの目で、子ども見守る地域環境をつくりましょう。

子ども ホットライン 24

092-641-9999（福岡地区）
 0949-24-3344（北九州地区）
 0942-32-3000（北筑後地区）
 0942-52-4949（南筑後地区）
 0948-25-3434（筑豊地区）
 0979-82-4444（京築地区）

※24時間相談員が対応し、相談にあたられています。秘密は厳守されます。

- ◎「保護者用チェックリスト」は、県PTA連合会のホームページからもダウンロードできます。
- ◎福岡県PTA連合会では、6月と10月をいじめ撲滅月間として、県下一斉親子ふれあい運動に取組みます。
- ◎心配なことや不安な面があれば、一日も早く電話や連絡帳などで学校や子どもホットライン24などに相談しましょう。